

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ネクスト八千代工場
住 所	兵庫県多可郡多可町八千代区下村69-1
電話番号	0795-37-2701

事業所番号	2812700124
管理者名	橋本 和典
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 中工場・リフレッシュ工場・寺内・和田

実施日程 通年

実施した生産活動・施設外就労の概要

・昨年度から引き続き、地域の民間企業と連携し企画した低反発ウレタンのリユース製品の製造や、ロングフロアクッション等の製造を請け負いました。自治体の備蓄用防災毛布で一定年数を経たものを回収し、クリーニングしてまた圧縮バックに入れ再び備蓄用にするリユース事業も順調に事業が進んでいます。そしてネクストの主事業である不要布団のリサイクル事業も順調です。令和4年度は7市2郡7か所のクリーンセンターなどと契約し多くの不要ふとんを再利用し商品を製造しました。

利用者数 30名

令和4年度年間延べ施設外就労日数：3,638日

<目的>

地域連携活動のねらい

地域の企業と連携し、地域の活性化に微力ながら貢献したいと考えています。リユース製品の製造事業や布団リサイクル事業等は、障がい者就労、環境保全という「福祉」「環境」2つの社会的課題に寄与できる活動です。

地域にとってのメリット

地域の利用者さんを雇用し、障がい者の継続した就労と一般就労への移行を支援します。不要ふとんの引取りについては、ホームページを見たり口コミにより近隣住民や少し遠方の方も「助かります。」「無料は嬉しいです。」「捨てるのもったいないので再利用していただけるなら嬉しいです。」と持ち込んでくださいます。

対象者にとってのメリット

地域の民間企業での就労は、利用者さんにとっては就労能力の向上や一般就労への移行に資することであると考えています。また、複数の施設外就労場を提供することにより、自力で通所することが出来るようになった利用者さんが多くいらっしゃいます。

<成果>

実施した結果

コロナ禍の影響は残ったものの、地域の企業と連携することで、年間を通し利用者さんに途切れることなく作業を提供することができました。また滞ることなく安定した賃金を支払うことができました。事業として継続するためには新しい商品の開発も必須です。新しい商品の製造に対しては新しい作業を会得していただかなければならないのですが、利用者さんは懸命に努力をし向き合ってくださいています。職員も根気強く支援し、企業からの信頼に応えることができたのではないかと感じています。

得られた成果・課題点

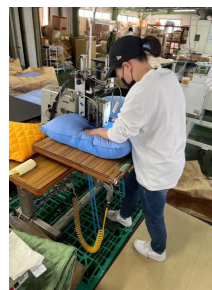
施設外就労を実施する大きな目的の一つとして、これをステップに一般就労へ移行していただくことです。民間企業で就労する経験は当然厳しさもある反面、新しい作業に順応する力や上手いかないときにぐっとこらえて取り組む忍耐力が身につきます。自ら気付き考え作業できる力が身につくチャンスも多くの場面があります。また、利用者さん同士や職員だけではなく企業の社員と話をすることでコミュニケーション能力も付いてきます。これらはすべて、一般就労への移行に資することだと確信していますし、実際にすべてにおいて大きくレベルアップしている方があります。しかし福祉事業所を卒業し一般企業で就労するという事は利用者さんにとっては大変高いハードルです。4年度は残念ながら一般企業への移行に向けた活動がなかなか進みませんでした。ただ、1名の利用者さんが職員に登用され活躍されています。5年度も一般就労への移行をあきらめず後押しすべく、職業訓練はもちろんのこと、運転免許やフォークリフトの運転免許等の取得に向け支援していきます。一環として給与保障や受講料の保障など資格取得支援に関する規程を定めてバックアップしています。4年度は1名の利用者さんがフォークリフト免許を取得されました！

<活動の様子>

活動の様子の写真

成果物の写真

活動内容の追加コメント



連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

フロンティアとネクストで連携し企画した低反発ウレタンのリユース事業は今年度も継続して製造をお任せしています。また昨年度から新たに始まった防災毛布のリユース事業でも製造をお任せしています。主事業である不要ふとんのリサイクル事業においても10年前のネクストの設立時から継続して安心してお任せしています。近隣でA型事業所は大変少なく、ネクストはその存在だけでも大変希少価値があるのですが、障がいを持ちながらも社会の一員として働きたいと考えている方にとっては、多くの点で大変質の高い就労支援を提供していると思います。利用者の皆さんは働き甲斐を持ち生き生きと就労されており、その品質も大手商社や販売店に販売する上で何ら問題ないレベルの商品です。障がい者施設という名前の上に胡坐をかくことなく、「一般企業に負けないものづくり」を理念とされており、福祉事業の固定概念に留まらない先進的な事業所だという考えは変わっていません。

今後の連携強化に向けた課題

ようやく長引いたコロナの影響も大きな山は乗り越えた感があります。しかし社会は一変と言っているほど、概念も働き方自体も大きく様変わりしました。企業もコロナによって大きく後退・縮小したところもあれば、前進・拡大したところもあります。企業にとっては新しい時代に向けその真価を問われたと感じます。フロンティアではSDGs商品に特化したリユース製品のEC事業も順調で、「今」「その先」を常に見据えて事業を展開しています。しかし「地球にやさしいものづくり」の理念は変わることはありません。そして製造部門はこれからもネクストさんをお願いしてまいります。

連携先企業名	フロンティア株式会社	担当者名	内橋 毅
--------	------------	------	------